

II 編集後記II

電力需要が日々の話題となる夏でした。人々の記憶に残る災害、東日本大震災によってまた新しい人類史の展開を見ることとなりました。大災害に遭われた方々に改めてお見舞い申し上げます。次第です。

さて、今回は、「論文」が東洋史・西洋史から各二本、日本史・考古学から各一本、さらに彙報が掲載されることとなりました。東洋史の二本の論文は、治水と水田開発に関わるもので、地域社会の特性と為政者の関係が浮き彫りにされています。西洋史の二本は、戦争地域における特例的な法制（アジール論にも繋がる）と統一を目指すドイツの選挙の実態を分析するものでした。また、日本史では近世岡山藩における將軍回忌法要、考古学では武蔵国造の争乱から国造制の形成を説明するものです。以上全ての論文に言えることは地域を限定してそこから普遍的な事実を引き出そうとする研究姿勢です。「地域研究」が人文学に広く普及する状況をこころでも読み取ることができそうです。

彙報では、連続講演会と卒業論文要旨が載せられています。表紙写真は大学史資料センターから提供していただきました。絶えて久しい水上運動会です。

本冊の編集は日本史コース助教の藤野裕子先生が担当されました。
(海老澤衷)

執筆者紹介（掲載順）

谷口 眞子 早稲田大学文学学術院准教授

小二田 章 早稲田大学大学院
文学研究科博士課程

高木 理 早稲田大学大学院
文学研究科博士課程

黒田 祐我 早稲田大学文学学術院
西洋史コース助手

熊坂 渉 早稲田大学大学院
文学研究科博士課程

城倉 正祥 早稲田大学文学学術院
専任講師

平成二十三年九月十八日印刷
平成二十三年九月二十五日発行

史観

第百六十五冊
定価 一千円

編集者 岡内三眞
発行者 岡内三眞

印刷所 株式会社 白峰社
発行所 早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一
電話東京(三三〇三)四一四一番
振替〇〇一九〇―八一―四六二九